

共感力
挑戦力
やりぬく力



平井小だより

令和6年1月9日
第13号
文責 吉永鈴子

明るく穏やかな1年になりますように！

冬休み明け、大きな病気や事故などもなく、子ども達は元気に登校してくれました。運動場を駆け回る子ども達の笑顔を見ることができ、とても有り難い年の初めです。

新年最初のごあいさつですので「あけましておめでとうございます」と言うべきところですが、ご存じのとおり、能登半島地震がありました。ご家族を失った悲しみは、本当に耐えがたいものだと思います。また、現在も、悲しく辛い思いをされている方が数多くおられます。そのことを思うと、とても心から「おめでとう」とは言えない気持ちでいます。保護者の皆様の中には、ご親戚やご友人が被災されている方もおられるのではないのでしょうか。心よりお見舞い申し上げます。

そのようなことから、本日1月9日の「冬休み明け集会」は、冒頭、全校児童で黙祷を捧げてはじめました。子ども達にお話した内容を、以下に簡単にお知らせします。

年の初めに大変な災害や事故があったからこそ、みんなにとって「明るい年」にしたいのです。明るい年にするための行動の秘訣を3つ教えます。それは、三つの「あ」です。

一つ目は、「明るい声」です。暗い心やガサガサした心、とげとげの心からは、明るい声は出ません。人間の心は不思議なもので、明るい声を出していると、なんだか心まで明るくなっていくのです。明るい声を出している人と一緒にいると、周りの人まで明るくなっていきます。是非やってみてください。

二つ目は、「ありがとう」です。これも明るい声と一緒に、「ありがとう」をたくさん言おうと思って気をつけていると、周りの人が自分のために頑張ってくれている事や手助けをしてくれている事に気がきます。学校に在る間に、「今日は10回以上、『ありがとう』を言おう」と決めてやってみてください。「ありがとう」をたくさん言う人は、友達いっぱい明るい毎日を送ることができます。

三つ目は、「あと少し」です。「ちょっとだけ多めにやってみる」という事です。大きな目標を立てて一気にやろうとすると長続きしないものです。だから、持久走大会で10番だったのに、一気に「1番になる！」という目標を立てるのではなくて、朝ランでちょっとだけ多く走ってみるという目標にするといいと思います。きつくなったら「あと少し」「あと1周」と自分に言い聞かせて走ってみてください。毎日の積み重ねで、いつの間にか力がついてきます。そして、毎日ちょっとずつ多く走っている自分のことが好きになってきます。漢字が苦手な人は漢字の練習を、音読が苦手な人は音読を、「あと少し」と踏ん張って、「ちょっとだけ多めにやってみる」ことを続けてほしいなあと思います。

三つの「あ」は、やった人には絶対効果のある、校長先生おすすめの行動です。

ぜひ平井小のみんなで「せーの」でやってみて、令和6年を明るい年にしましょう。

平井のよい子たちは、さっそく「ありがとう」を実践してくれています。学校には「明るい声」が響いています。ご家庭でも、お子様の背中を押してあげてください。今年もどうぞよろしくお祈りします。

早寝早起き・朝ご飯・手洗いうがいを！

子ども達の心と体の健康を守る行動を、どうぞよろしくお祈りします！



今年が皆様にとって
明るく穏やかで幸せな
1年となりますように！

